

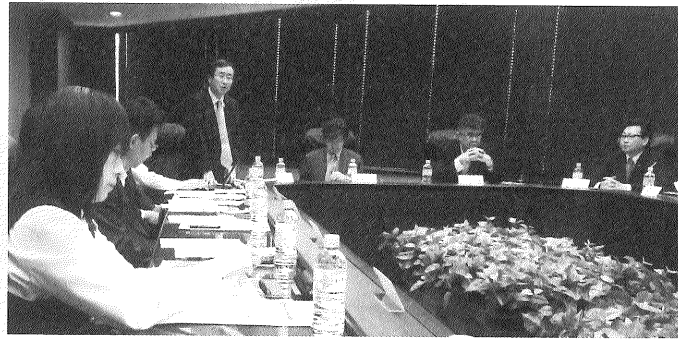
# 健康スコアリングレポート発表を受け コラボヘルスを開始!



平成30年10月27日(土)勝又自動車6F会議室にて産業医の永島昭司先生をお招きし、第2回健康保険業務研修会(健康管理事業推進委員会)を開催しました。

厚生労働省から健康スコアリングレポートが発表され、社員とその家族の健康課題を共有しつつ、疾病予防や健康作りに取り組むことが目的です。議題は、①スコアリングレポートの解説、②ピロリ菌検査(ガン予防事業)アンケート結果、③産業医 永島先生の「健康診断の意義・禁煙、受動喫煙について」講話、④「ホワイト500」(\*)取得にあたり4つをテーマに話し合いを行いました。

今回、初めてお越しいただいた永島先生からは、産業医から見た社員との関わり方、より良い職場環境づくりへのレクチャーを受けました。今回出席されたグループ会社6社10名の担当者からも参考になったとの声を多くいただきました。今後も、事業所と健康保険組合が積極的に協力し合い保健事業を進めるために開催いたします。



(\*)「ホワイト500」とは、経済産業省が2016年に創設した認定制度「健康経営優良法人」のうち、規模の大きい企業や医療法人を対象とした大規模法人部門の認定法人を指す呼称です。同制度は、特に優良な健康経営を実践している企業や団体を、大規模法人部門と中小規模法人部門の2部門に区分して顕彰する制度。



○保険証を大切に、退職時には必ず返しましょう  
○保険給付支給通知書は大切に保管しましょう  
○医療費控除を受ける時必要になります。

## ●ピロリ菌検査結果とアンケート集計

胃がんになる原因の90%以上がピロリ菌(\*)によるものと言われているため、平成29年度の生活習慣病健診において、例年の健診に追加し、ピロリ菌検査を実施しました。ピロリ菌検査を受けた3,513人のうち、陽性の方が488人で全体の14%(表1)という結果になりました。

陽性だった方が、医療機関を受診したかを確認するために、9月にアンケートを実施いたしました。

アンケート送付人数は、退職者を除いた451名で、すでに医療機関を受診した方が157名、受診予定者が167名で受診率は70%を超える見込みです。(表2)

お忙しい中アンケートにご協力いただきありがとうございますございました。詳細はホームページにも掲載致します。

(\*)ピロリ菌とは  
正式名称を「ヘリコバクター・ピロリ」という。ヒトの胃などに生息する。ピロリ菌は特殊な酵素を産生することにより、強酸性である胃の内部でも生息できる。ピロリ菌の感染は、慢性胃炎、胃潰瘍や十二指腸潰瘍のみならず、胃がんの原因と言われている。

表1 ヘリコバクターピロリ菌検査結果

	H30年1月~2月健診				
	健診対象者	陽性	陰性	未健診	陽性率
千葉トヨベツ	1004	132	870	2	13%
カローラ千葉	780	141	639	0	18%
ネッツ東都	319	33	279	7	10%
カローラ新埼玉	508	57	448	3	11%
ネッツ埼玉	566	74	491	1	13%
レンタリース千葉	124	14	110	0	11%
勝又自動車	206	35	162	9	17%
勝又健康保険組合	6	2	4	0	33%
総計	3513	488	3003	22	14%

表2 医療機関受診状況(アンケート集計)

	H30年9月アンケート					
	陽性(*) ①	受診した ②	受診予定 ③	予定なし ④	未回答 ⑤	受診率 (②+③)÷①
千葉トヨベツ	125	41	49	24	11	72%
カローラ千葉	128	43	42	31	12	66%
ネッツ東都	33	14	10	7	2	73%
カローラ新埼玉	48	16	24	8	0	83%
ネッツ埼玉	68	18	25	16	9	63%
レンタリース千葉	12	7	3	2	0	83%
勝又自動車	35	17	11	6	1	80%
勝又健康保険組合	2	1	1	0	0	100%
総計	451	157	165	94	35	71%

(\*)アンケートは退職者、休職者等を除いていますので、検査結果「陽性」数と相違があります。

## ●早期胃ガン発見!

今回このピロリ菌検査のアンケートから、早期の胃ガンを治療された社員の方にお話を聞くことができました。

ネットヨタ埼玉にお勤めのAさんは、年齢は50代で奥様と二人暮らし。6、7年前は太っていて血圧も高かったそうですが、ダイエットのためウォーキングを1年半続け体重を落としたことで血圧も安定し、弱い薬を1錠飲むだけになったそうです。すでに30歳で禁煙し、酒も付き合い程度とのことでした。

◆今回、医療機関を受診するキッカケとなった出来事をお話ください。

今回のピロリ菌検査で陽性になったことと、血尿、蛋白、排尿痛などがあったため健診結果を持って医療機関を受診しました。実は、お客様でたまたま健診を受診しなかった翌年にガンが見つかり、その後亡くなった方がいらっしゃったこともあり健診結果には気を付けておりました。

◆医療機関ではどのような検査・治療をされたのですか。

ピロリ菌検査は胃カメラでの確認が必要ですが、胃カメラ自体は過去に3~4回経験があったので不安はありませんでした。始めは若い医師が検査を行っていましたが、途中からベテランの医師に担当が替まりました。その結果、肉眼では見つけづらい場所にある粘膜に散らばるタイプのガン(進行の早いタイプ)が見つかったのです。内視鏡検査の先生からガンかもしれないと言われましたが、主治医からはガンではないと思うと言われました。組織の検査に1週間かかり、胃ガンを宣告されたときはショックでした。T大病院を紹介されましたが、受診までの2週間の間、不安で胃が痛くなりました。もう一度胃カメラで検査して早期の胃ガンと診断されて、今手術すれば治るが放置すれば確実に悪くなると言われて、腹腔鏡手術を受けることになりました。

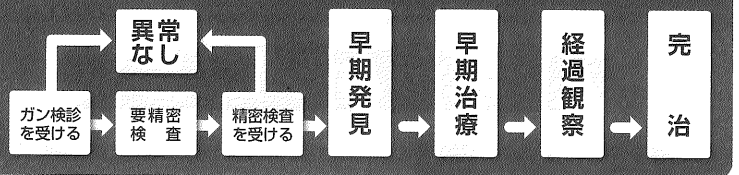
◆今のお気持ちは。

健保でピロリ菌検査をしてくれたこと、胃カメラでベテランの医師に替わったことなど偶然が重なりました。医師に1年後受診したらどうだったかと聞くと、かなり進行の早いガンだから治らなかったかもとの回答がありました。今から思うと、偶然が重なりすべてが良い方向へと向かったことは幸運でした。

今回Aさんには、いろいろなエピソードなど、とても貴重な体験談を伺うことができました。お忙しい中お時間をいただきありがとうございました。

### 早期発見から完治までの流れ

胃ガン・大腸ガン・子宮頸ガン・乳ガンは、早期発見・早期治療で95%以上の方が治ります。2010年度に日本対ガン協会グループで胃ガン検診を受けた人のうち3千人にガンが見つかりました。その中の6割は早期のガンでした。



## 健保組合からの“お知らせ”と“お願い”

■定期健康診断(特定健康診断)が来年1月から始まります。  
年末年始に掛け、暴飲暴食を控え、生活習慣を整えましょう!(お願い)

